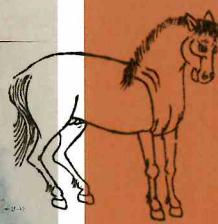
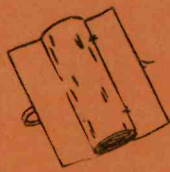
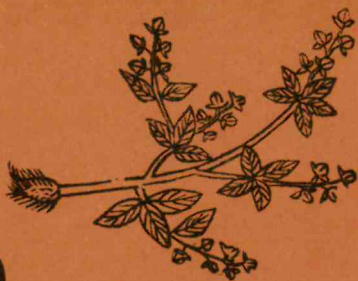


南部ブランドの底力



領藩岡盛物展



2026年

10・3

土

12・14

月

盛物

※小・中学生のうち盛岡市在住・就学の方は無料
※障がい者手帳をお持ちの方やその介護をなさる方（障がい者1人につき1人まで）は無料
※会期中の休館日は、10月20日（火）、11月17日（水）
開館時間／「10月31日まで」午前9時から午後7時（入場受付は午後6時30分まで）
「11月1日から」午前9時から午後6時（入場受付は午後5時30分まで）
観覧料／一般450円、高校生300円、
小・中学生150円、団体（20人以上）は各2割引
会場／もりおか歴史文化館（2階企画展示室）

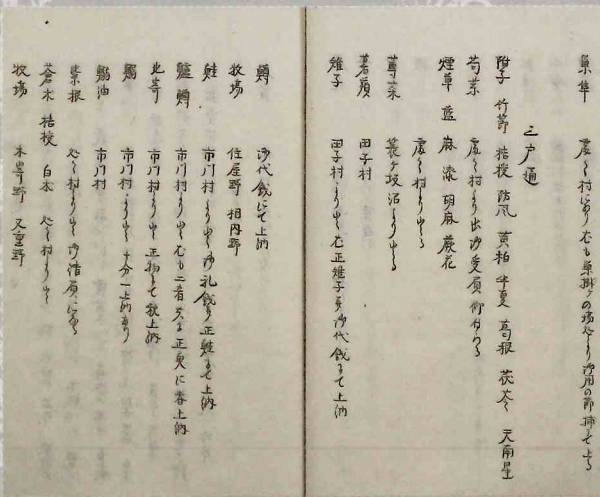
15th
2011—2026

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸1番50号
Tel.019-681-2100 <https://www.morireki.jp/>

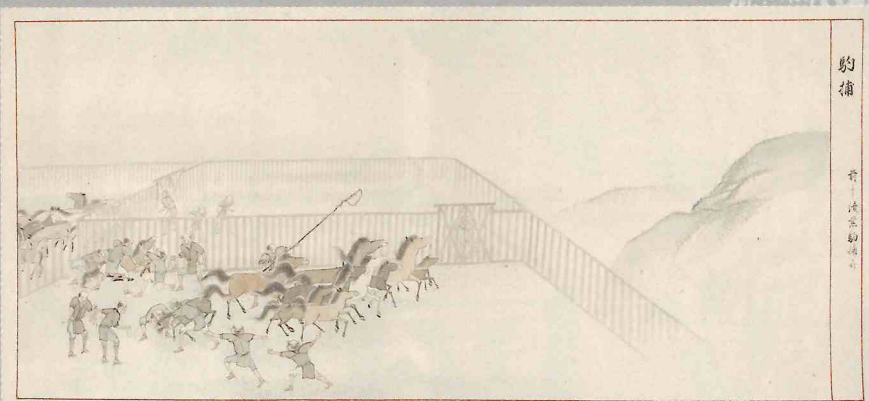
もりおか歴史文化館
Morikawa History and Culture Museum 活性化グループ



御領分物産取調書



御田領名所図巻(駒捕)



関連企画

① ギャラリートーク

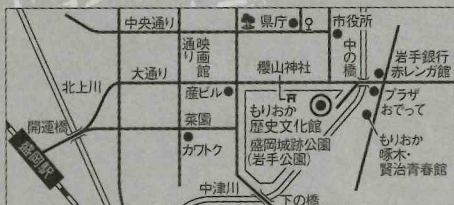
- 内容／企画展担当学芸員による展示解説
- 日時／令和8年10月27日① 13:30～14:30
11月28日② 13:30～14:30
- 会場／当館2階 企画展示室
- 定員／なし(当日自由参加)
- 料金／展示室入場料が必要

② れきぶん講座「盛岡藩領産物帳の世界」

- 講師／企画展担当学芸員
- 内容／江戸時代における産物の実態を今に伝える。盛岡藩の各種「産物帳」について、当館収蔵品を中心に丁寧に紹介し、その歴史的意義や史料価値を知る。
- 日時／令和8年12月5日① 13:30～15:30
- 会場／当館1階 研修室
- 定員／30名 ＊事前申し込み制(往復はがきor応募フォーム)。11月9日② 必着必切

③ 盛岡藩領物産展 Real

- 内容／盛岡藩をより身近に、よりリアルに感じてもらうべく、旧盛岡藩領内各地の「現在」の土産や名産を販売。
- 期間／令和8年10月3日①～12月14日②
- 会場／当館1階 町なか情報センター(ミュージアムショップ)



南部ブランドの底力

江戸時代、南部家が治める盛岡藩領は「比類無き広大無量の御国」(『盛岡藩家老席雑書』天保8年12月5日条)と言われるほど、広範な地域に跨っていましたが、米の生産量を基にした石高は10万石(文化5年以降は20万石)であり、決して裕福な藩ではありませんでした。石高で経済力が示される江戸時代において、慢性的に脆弱な盛岡藩の経済を支えていたのは、広大な領内各地で産出・生産される様々な品物でした。それらの産物は時に「南部カタクリ」・「南部馬」・「南部紫根」のように、「南部」の名前を冠しながら全国の人々にも珍重され、盛岡藩が誇る名産品として認識されていました。このほかにも領内各地では、今ではあまり知られていない産物も含め、さまざまな品物を産出・生産し、藩内外に流通させていました。本展では、江戸時代の盛岡藩領の特色ともいえる産物について、それらの供給源となった具体的な地域と関連付けながら知っていただくことで、広大な盛岡藩領の実態の一端に触れていただければと思います。

現在でも盛岡では「南部せんべい」や「南部鉄器」のように、「南部」を冠する商品や店を目にする機会が多くあります。これは江戸時代以来の盛岡藩領、すなわち南部家が治めていた地域における諸産業への尽力の歴史と、それに対する地域の人々の誇りが込められているように感じます。本展を通じて、そのような歴史的背景とともに、かつての盛岡藩の産物が持つ魅力や奥深さを感じていただければ幸いです。

盛岡藩領物産展



もりおか歴史文化館
Morioka History and Culture Museum 活性化グループ

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸1番50号
Tel. 019-681-2100 <https://www.morireiki.jp/>

2026年10・3①—12・14②